

第1章 推進計画改定の基本的な考え方

1 趣旨

平成17年7月に施行された「食育基本法」を受け、「食育推進基本計画」(H.18.3.)では、「子どもの健全な育成のため、あらゆる機会とあらゆる場所を利用して、積極的に食育の推進に努めること」としてきました。学校給食法においては、その目的に「食育の推進」を新たに明記するなど、給食での食育の法的位置づけを明確にしてきました。

一方、横浜市教育委員会では、「教育のまち・横浜」の実現を目指す10年構想として、平成18年10月に「横浜教育ビジョン」を策定しました。その中で「幅広い知識と教養」「豊かな情操と道徳心」「健やかな体」という「三つの基本(知・徳・体)」と、「公共心と社会参画意識」「国際社会に寄与する開かれた心」という「2つの横浜らしさ(公・開)」を最も大切に、「横浜の子ども」を育てていくことを目指してきました。

「横浜教育ビジョン」の後期5か年(平成22~26年度)の計画である「横浜市教育振興基本計画」においても、「重点施策4 健やかな体の育成」の中に「健康で安全な生活習慣の確立に向けて、食育の推進など、健康教育を充実していくことが求められています。」と記されており、学校における食育の積極的な実践、充実が期待されています。

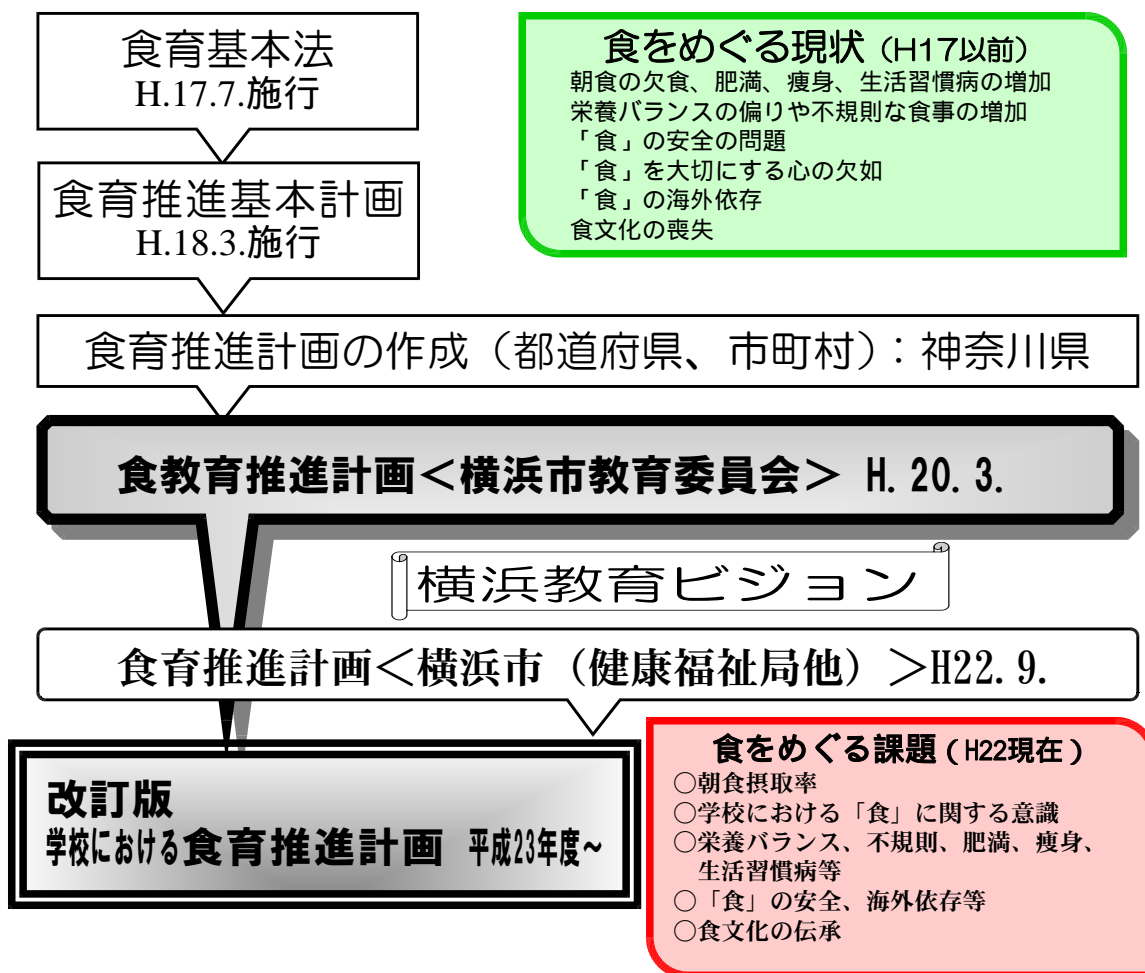
前版の「食教育推進計画」は平成18年度からの5か年計画を示し、子どもの食の実態を把握するとともに、食育の実践例を紹介しながら、各学校における「食育の全体計画」作成の指針として作成されました。この推進計画に基づき、平成22年3月までに、全ての市立小・中・高等・特別支援学校に学校ごとの「食育の全体計画」が位置づけられ、平成22年度から、全校で食育の取組が進められています。

平成20年3月に告示された学習指導要領総則には、「学校における食育の推進」が明記され、関連教科等における指導はもちろん、学校教育全体を通して指導する内容の一つとして位置づけられました。さらに、平成22年9月には、横浜市全体の「横浜市食育推進計画」が策定され、学校における食育の役割も、その中に位置づけられました。今後は、学校教育における学びの連続のみならず、関連諸機関との連携を図りながら、よりグローバルな視点で学校における食育を進めていく必要があります。

「食教育推進計画」5年間の成果を踏まえ、さらに「横浜市食育推進計画」を受けて今後の「学校における食育」を進めていくためにも、平成27年度までの中期計画と目標設定を見直し、指針を示す必要があります。「食育の全体計画」に基づき、本格的に食育をスタートさせようとする各学校にとって、この改訂版推進計画がサポートツールとして機能してくれることを願っています。



2 計画の位置づけ



これまでの取組で、児童生徒をはじめ、保護者、教職員の「食」に対する意識は確実に変わってきました。子どもの生活習慣を見直し、よりよい学習環境を整えることはもちろん、運動系部活動におけるパフォーマンス向上のために、「食」を見直す試みも確実に増えてきています。また、食に関係する企業、団体が「食育」に関わろうとする動き（出前授業等の教育サポート等）も年々増加し、社会としての意識の高まりも感じられます。

現実に年々、朝食の摂取率が上がり、平成21年度には小学校で95%（H18比1%増）、中学校では90%（H18比4%増）と、当初の課題も少しずつ改善されてきています。

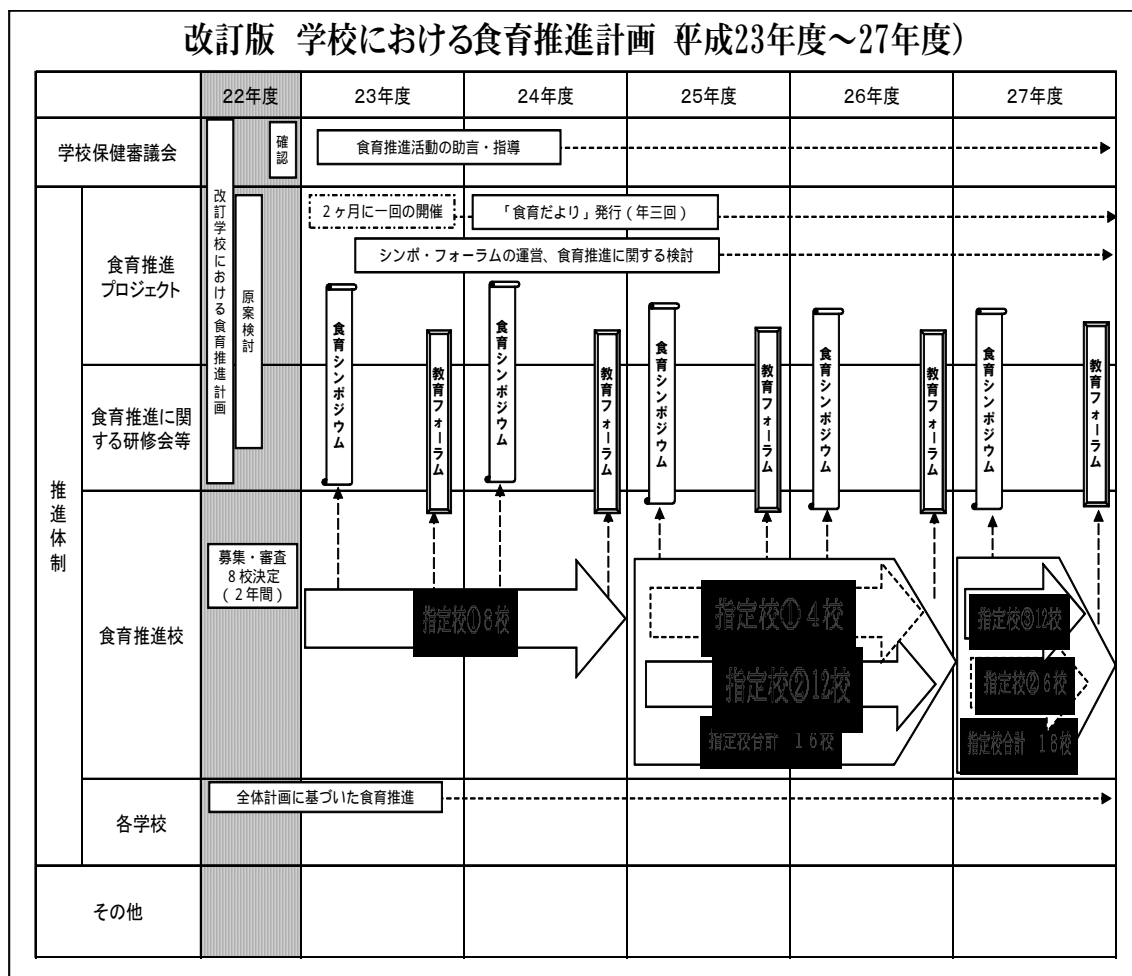
しかし、肥満や痩身、生活習慣病の増加、「食」の安全、「食」を大切にする心の問題など、5年経った今も課題として残る問題も少なくありません。

横浜市立の小・中・高・特別支援学校では、平成21年までに全ての学校で「食育の全体計画」が作成されました。「食」に関する指導を進めていく準備が整ったわけです。平成22年9月の「横浜市食育推進計画」は、学校だけでなく、市内各関係諸機関との連携も展望できるものになっています。

こうした社会的背景も踏まえ、学校における食育が、今後さらに充実したものになるよう、指針としての「改訂版 学校における食育推進計画」を策定しました。

3 計画期間

この計画の推進期間は、「横浜市食育推進計画」に基づき、平成23年度から平成27年度までとします。



4 計画の効果的な推進

各学校の計画に則り、より効果的に児童生徒が豊かな心と健やかな体を育ていけるよう、家庭・地域との連携を密にするとともに、健康福祉局、環境創造局、経済局（中央卸売市場等）をはじめとする他部局との連携や関係機関・団体等とのネットワークの構築を進め、より体験的活動を取り入れた、学校支援を図ります。

5 計画の進行管理と評価

本計画をより実効性のあるものとするために、計画の達成状況については、学校におけるアンケート調査や関連する各計画の評価指標等で適切に把握します。また、その状況を「横浜市学校保健審議会」において定期的に検証、評価し、その結果を踏まえ、さらに効果的な食育の推進を図ります。